

Press release

浮体式洋上風力実証プロジェクトは順風満帆

- Saitec Offshore TechnologiesとRWE Renewablesは、浮体式洋上風力実証プロジェクト DemoSATHの製造組立業者にFerrovialを選定し契約を締結
- プレキャストコンクリートと浮体の組立てを発注
- 建設予算の90%は地場サプライチェーンに投入—試運転は2022年の予定

2020年10月28日 エッセン／ビルバオ

RWE Renewablesグローバル洋上風力発電部門COO スヴェン・ウーターメーレン：

「DemoSATHプロジェクトはいよいよ製造段階に入り、2022年の洋上施工に向けて順調に進んでいます。浮体式洋上ウィンドファームには世界的に大きな潜在可能性があると思います。とりわけ沿岸海域の水深が深い国々にとって、浮体式がもたらすチャンスは魅力的です。DemoSATHプロジェクトで、コンクリートをベースにした革新的なプラットフォーム技術から知見を得ることは、成長市場における当社のポジショニングを後押ししてくれるでしょう。」

Saitec Offshore TechnologiesとRWE Renewablesが共同で進めているDemoSATHプロジェクトにおいて、洋上風車用浮体式プラットフォームSATHの製造、組立てを請け負う業者として、インフラ事業の世界的なトップ企業であるFerrovialが選定されました。現場準備、コンクリートのプレキャスト、スチール隔壁の調達、浮体の組立て、サプライチェーンの管理など一連の建設作業には14ヶ月を見込んでいます。この度の契約締結はプロジェクトにとって重要なマイルストーンであり、これをもってスペイン北部のビルバオ港での作業が始まることとなります。新型コロナウイルス感染症対策を講じた労働安全衛生規則のもと、2020年11月に着工し、プロジェクトのピーク時には地元から約60名の雇用を予定しています。

2020年2月、RWE RenewablesとSaitec Offshore Technologiesは、スペインのバスク海岸沖にて洋上風車用浮体式プラットフォームの共同実証試験に取り組むことを発表しました。このDemoSATHプロジェクトでは、浮体式としては初となる数メガワット級の洋上風車をスペインの電力系統に接続します。RWE Renewablesはプロジェクトに出資し、洋上風力発電世界第2位の企業として蓄積した豊富なノウハウを投入することで、プロジェクトから多くの知見を得ることができます。

SATH技術は、モジュール形式でプレファブしたコンクリート部材をブレースした、双胴船型の浮体をベースにしています。浮体は、一点の固定係留点を中心として、風向および波向に合わせて位置調整することができます。

RWE

Saitec Offshore Technologiesのダビド・カラコサCTOは次のように述べています。「商業生産に早くつなげていくことが私達の目標です。そのためDemoSATHは、SATH技術の実現可能性だけでなく、量産化への道筋を示すプロジェクトでもあるのです。Ferrovialは、私達の目的を確実に達成していくうえで頼りになる、完璧なパートナーです。」

Ferrovialでバスク地方の建設マネージャーを務めるアルベルト・バル氏は次のように述べています。「これは当社にとって初めての浮体式洋上風力プロジェクトになります。当社が蓄積してきた海洋建設とプレストレストコンクリート構造物の経験で貢献してまいります。このプロジェクトは材料面のみならず、製造と組立工程の開発という意味でも大変革新的なものです。」

実証に使用する大型プロトタイプ用の構造物と2メガワットの風車は、ビルバオ港で組立てる予定です。構造物の底部は幅約30m、長さ約64mとなります。風車を含めたプラットフォームは、沖合2マイル（約3km）の海域にある実証フィールドの係留ポイントまで曳航する計画です。当該海域の水深は約85mです。チェーンと繊維から成るハイブリッド係留索を海底に固定し、浮体を定位置に維持します。運転開始は2022年初頭の予定です。実証ユニットが年間に発電する電力は2000世帯分の電力需要をまかなうことになり、これにより大気中に排出されるCO₂量を5100トン以上減らすことができます。

DemoSATHプロジェクトでは、このユニットの建設、運用、保守を通して、データを蓄積し、現場での知見を獲得することを目指しています。将来の量産化に向けた建設手順に加えて、プラットフォームの洋上での挙動を試験します。Saitec Offshore Technologiesはウィンドファームの商用化を目指し、浮体を複数の部分に分けてプレキャストした後に組立てることで製造の効率化を図っており、本プロジェクトではその効率性を実証することになります。

SATHは建設資材として主にコンクリートを使用するため、現地調達率の向上に寄与する技術でもあります。DemoSATHプロジェクトの建設予算の90%は地場サプライチェーン（実証サイトから50km圏内）に投入することになります。

世界各地の洋上風力発電所の設計を現地の状況に合わせて柔軟に対応できるよう、RWEはSATH技術の他にも、ノルウェー沖や米国などで浮体式洋上風力発電技術をテストしています。



お問い合わせ先：

Sarah Knauber
RWE Renewables

T +49 201 5179-5404

M +49 162 2544489

E sarah.knauber@rwe.com

Coral Jaén
Saitec Offshore
Technologies

T +34 944 64 65 11

M +34 627 79 17 67

E coraljaen@saitec.es

Paula Lacruz
Ferrovial

T +34 915 862 526

M +34 626 12 93 00

placruz@ferrovial.com

RWE Renewables

RWEグループの最も新しい子会社であるRWE Renewablesは、世界最大級の再生可能エネルギー会社です。約3,500名の社員を擁し、陸上風力発電、洋上風力発電、太陽光発電、大型蓄電池施設を合わせた設備容量は合計で約9ギガワットにおよびます。4大陸の15か国以上で、再生可能エネルギーの普及拡大を推し進めています。2022年末までに再生可能エネルギーに50億ユーロの純投資を行い、再生可能エネルギーの純発電容量を13ギガワットに拡大することを目指しています。これに加えて、風力発電と太陽光発電のさらなる成長を計画しています。成長に向けての重点市場は南北アメリカ大陸、ヨーロッパおよびアジア太平洋地域の中核市場です。

Saitec Offshore Technologies

Saitec Offshore Technologiesは、インフラエンジニアリングで30年以上の実績をもつSaitec Engineeringのスピンオフです。水深に左右されず、コスト効率の高いコンクリート浮体技術の開発によって洋上風力発電のグローバル化を目指し設立されました。SATH (Swinging Around Twin Hull)技術は、設備投資と運用コストのいずれをも低減し、現地調達率を向上させる、浮体式洋上風力市場に大変革をもたらす技術として考案されました。子会社を擁する英国、フランス、日本 (Saitec Offshore Japan KK) を中心に、全世界で入札に参加し商業プロジェクトを開発しています。

Ferrovial

Ferrovialは、世界的なインフラ事業者として、持続可能なソリューションの開発に取り組んでいます。スペインの優良企業 IBEX 35 インデックスのメンバーであり、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックスや FTSE4Good にも選ばれています。2002年に採択された国連グローバル・コンパクトの原則を遵守して事業を展開しています。

EU一般データ保護規則 (GDPR)

GDPR導入後も、RWEは、RWEに関する最新情報を掲載したプレスリリースをお送りし、そのための電子的な手段によるご連絡をさせていただきたいと考えております。ここに、当社のプライバシーポリシーを更新したことをお知らせします。プレスリリースをお送りする目的で収集、保存、処理した個人データを第三者に開示することはありません。お客様の個人データは、任意で提出されたものです。お客様には、いつでもこの使用を禁止する権利があります。お客様は、保存された個人データに関する情報をいつでも無料で入手し、お客様のデータの処理や使用に異議を唱える権利を有します。プレスリリースの配信継続を希望されない場合は、datenschutz-kommunikation@rwe.comまでご連絡ください。お客様のデータを当社のシステムから削除し、当社からこれ以上プレスリリースが配信されないようにいたします。当社のプライバシーポリシーに関するお問い合わせは、datenschutz@rwe.comまでお願いいたします。